

朝日まちなみプラン (朝日町東海道まちなみ整備計画) を策定しました！

～歩き集えるくらしやすいまちづくり～

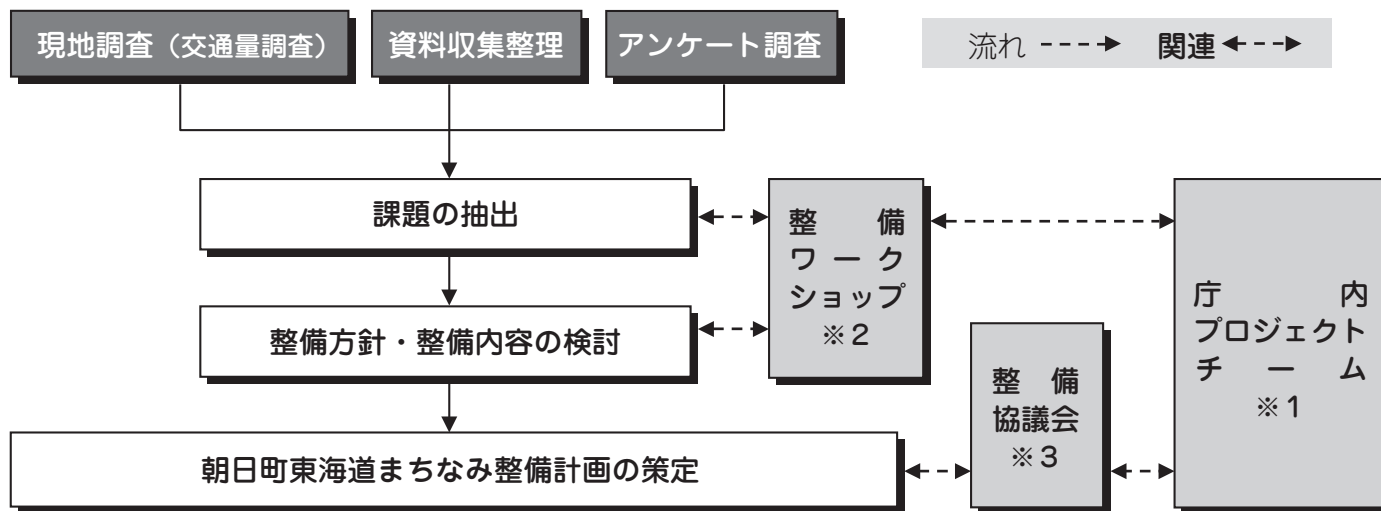
人口減少、超高齢社会にあって、朝日町原風景（ふるさと）である東海道沿道の町における暮らしやすさを復活継続させ、町民が愛着を持って住み続けたいとなるまちづくりが必要です。また、町の個性や魅力を発信し、町全体のイメージアップを図ることで、転入者や来訪者の増加に繋げ、町を活性化することも必要です。

これらのことから、地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした個性あふれるまちづくりを実施するため、古くからの町民だけでなく、転入者や来訪者等の視点についても考慮して、平成29年3月「朝日町東海道まちなみ整備計画」（以下「本計画」という。）を策定しました。

本計画の正式名称は「朝日町東海道まちなみ整備計画」ですが、町民の皆様にとって親しみやすい計画にしたいとの思いから、サブタイトルとして「朝日まちなみプラン」、キャッチコピーとして「歩き集えるくらしやすいまちづくり」を設定しています。

本計画を推進し、より皆様に親しんでいただける様、今月号から7月号にかけて本計画の内容（第1章～第7章）について発信してまいります。今月号は朝日まちなみプランの第1章（計画の趣旨）から第2章（現状と課題）について紹介させていただきます。

本計画を策定するにあたっては、アンケート調査や交通量調査などを行うとともに、東海道沿線自治区の住民からなる整備ワークショップや学識者、各種団体などからなる整備協議会等の意見を踏まえ、以下の手順により策定しました。



※1 【朝日町旧東海道まちなみ整備庁内プロジェクトチーム】

調査・資料及び整備ワークショップ・整備協議会の意見等を基に、各部局（庁内関係各課の選任職員）の課題整理を行いました。

※2 【朝日町旧東海道まちなみ整備ワークショップ】

調査・資料等を基に参加者（東海道沿線自治区長推薦による住民）の自由な意見を取り入れた整備方針・整備内容を検討しました。

※3 【朝日町旧東海道まちなみ整備協議会】

整備ワークショップにて策定された整備方針・整備内容を基に整備協議会委員（学識者、議会議員、各種団体、沿線自治区長）において本計画を策定しました。